

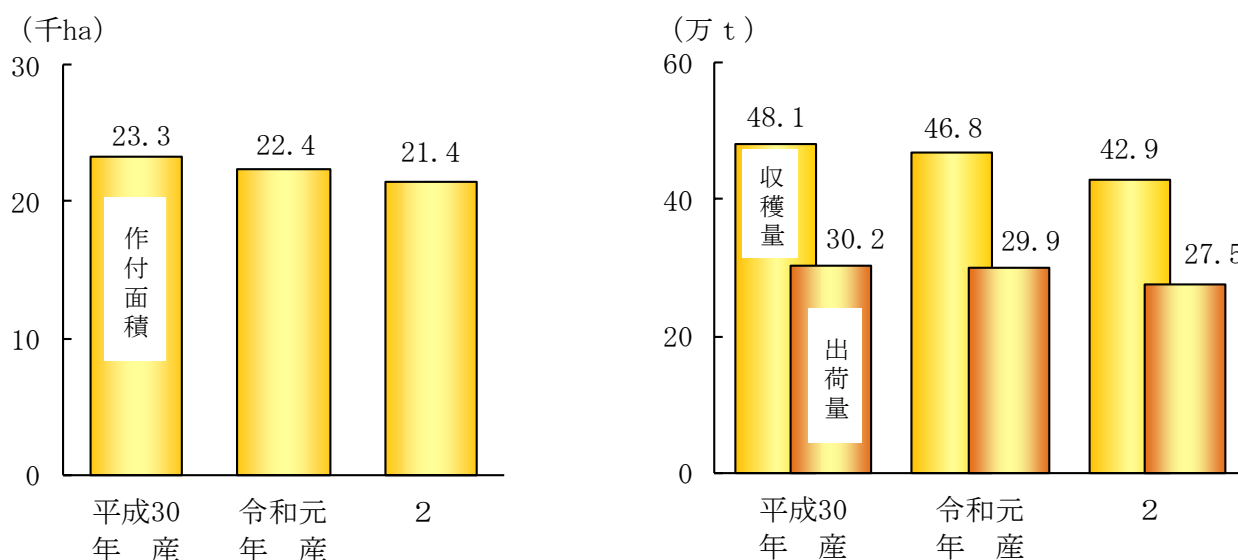
令和2年産春植えばれいしょの作付面積、収穫量及び出荷量（都府県）

— 都府県の春植えばれいしょの収穫量は、前年産に比べ8%減少 —

【調査結果の概要】

- 1 都府県の作付面積は2万1,400haで、前年産に比べ1,000ha（4%）減少した。
- 2 収穫量は42万9,300 t、出荷量は27万4,900 tで、前年産に比べそれぞれ3万8,300 t（8%）、2万3,600 t（8%）減少した。

図1 春植えばれいしょの作付面積、収穫量及び出荷量（都府県）



○ 本資料は都府県の調査結果であり、北海道分を含めた全国の作付面積、収穫量及び出荷量については、令和3年2月上旬に公表する予定である。

本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_yasai/index.html#y4 】

◎ 調査結果の主な利活用

- ・ 食料・農業・農村基本計画における野菜の生産努力目標の策定及びその達成に向けた各種対策の推進のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく畑作物共済事業の適切な運営のための資料

◎ 累年データ

春植えばれいしょの作付面積、10a 当たり収量、収穫量及び出荷量

1 全国

2 都府県

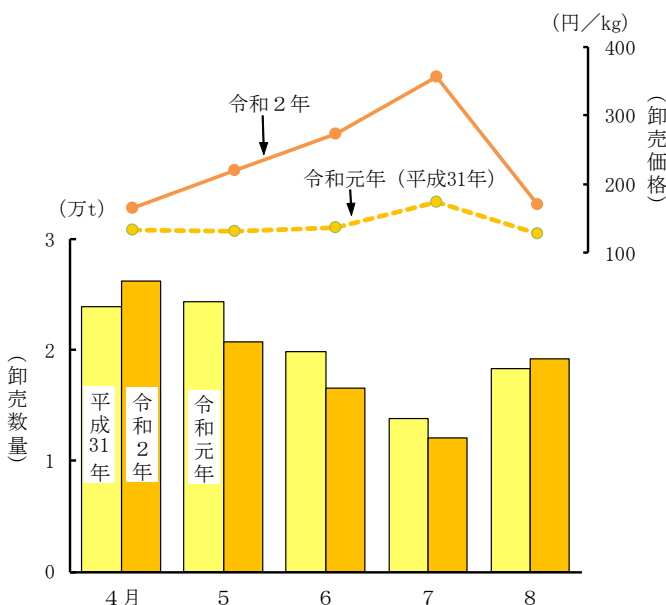
年産	1 全国				2 都府県			
	作付面積	10a 当たり収量	収穫量	出荷量	作付面積	10a 当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	ha	kg	t	t
平成23年産	78,000	3,000	2,339,000	1,925,000	25,000	1,980	495,800	291,100
24	78,300	3,130	2,447,000	2,021,000	24,900	2,040	508,600	304,800
25	76,900	3,070	2,360,000	1,963,000	24,400	1,990	484,500	294,600
26	75,500	3,190	2,409,000	2,019,000	24,000	2,050	492,700	304,100
27	74,600	3,170	2,365,000	1,974,000	23,700	1,930	457,100	276,100
28	74,600	2,890	2,158,000	1,787,000	23,300	1,900	442,700	266,200
29	74,500	3,160	2,355,000	1,966,000	23,200	2,010	466,500	287,100
30	74,000	2,990	2,215,000	1,855,000	23,300	2,060	481,100	301,800
令和元	72,000	3,270	2,357,000	1,996,000	22,400	2,090	467,600	298,500
2（概数）	21,400	2,010	429,300	274,900

資料：農林水産省統計部「野菜生産出荷統計」

注：「..」は未公表であることを示しており、北海道を含めた全国値（概数）については、令和3年2月上旬に公表する予定である。

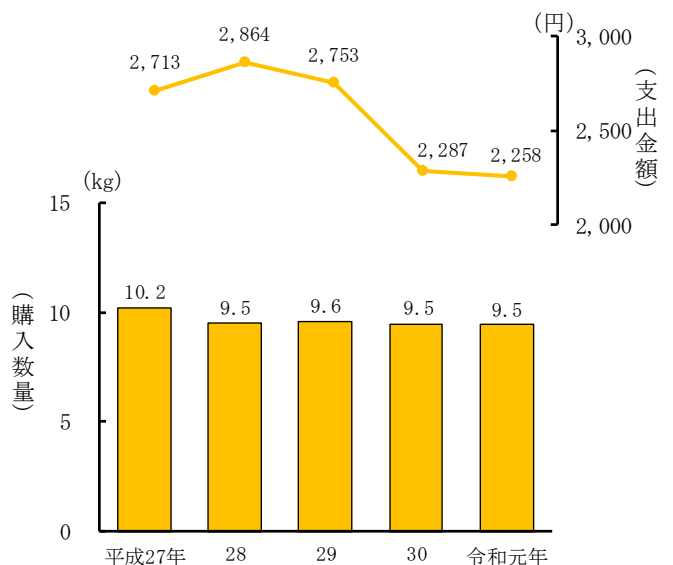
◎ 関連データ

1 ばれいしょの卸売数量及び卸売価格の推移（主要卸売市場）



資料：農林水産省統計部「青果物卸売市場調査（日別調査）」
注：全国の主要都市に所在する主要な中央卸売市場の日別値を加算し算出したものである。

2 ばれいしょの1世帯当たり年間の購入数量及び支出金額の推移



資料：総務省「家計調査（家計収支編）（二人以上の世帯）」

【調査結果】

1 都府県の作付面積は2万1,400haで、前年産に比べ1,000ha（4%）減少した。

これは、高齢化による作付け中止や他作物へ転換されたこと等による。

2 都府県の10a当たり収量は2,010kgで、前年産に比べ80kg（4%）下回った。

3 都府県の収穫量は42万9,300t、出荷量は27万4,900tで、前年産に比べそれぞれ3万8,300t（8%）、2万3,600t（8%）減少した。

4 都府県別の収穫量割合は、鹿児島県が18%、長崎県が15%、茨城県が10%、千葉県が7%、長野県が4%となっており、この5県で都府県の約5割を占めている。

図2 春植えばれいしょの作付面積、収穫量及び出荷量の推移（都府県）

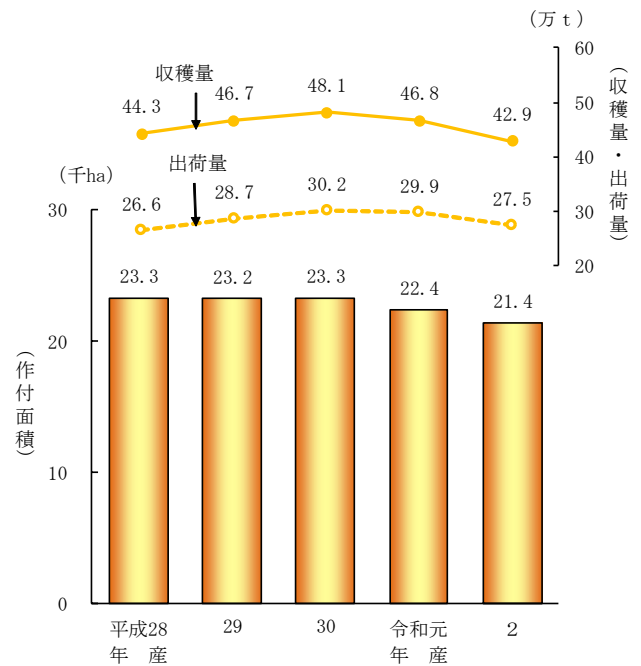
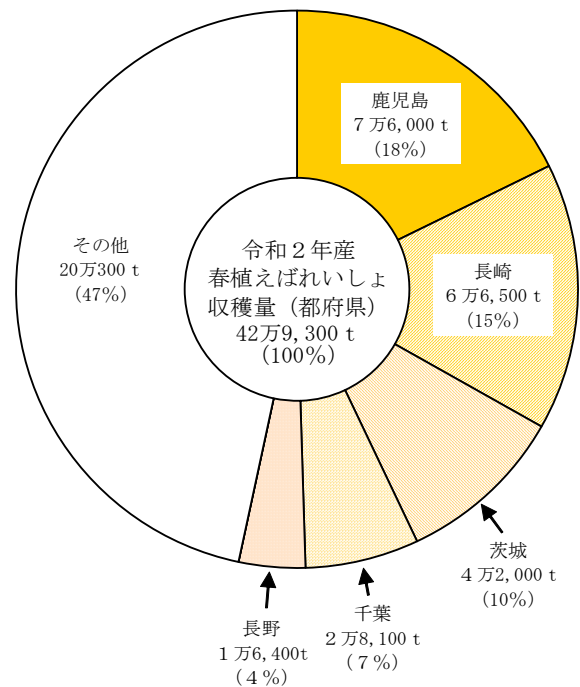


図3 春植えばれいしょの都府県別収穫量



注：割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

表 令和2年産春植えばれいしょの作付面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（都府県）

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
春植えばれいしょ	21,400	2,010	429,300	274,900	96	96	92	92

【統計表】

令和2年産春植えばれいしょの作付面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

都府県	作付面積	10a当たり 収量	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考)
					作付面積	10a当たり 収量	収穫量	出荷量	対平均 収量比
都府県	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
都府県	21,400	2,010	429,300	274,900	96	96	92	92	nc
うち青森	672	2,170	14,600	11,200	102	92	94	95	95
宮城	498	1,350	6,720	2,020	96	102	98	97	97
福島	998	1,630	16,300	2,180	98	96	94	94	92
茨城	1,620	2,590	42,000	35,500	101	86	87	87	88
千葉	1,160	2,420	28,100	23,300	98	97	95	95	102
長野	916	1,790	16,400	1,440	90	95	85	85	90
静岡	489	2,280	11,100	9,520	96	83	79	79	95
三重	177	1,020	1,810	1,140	94	88	83	83	80
岡山	172	1,000	1,720	309	90	97	87	88	83
広島	347	1,420	4,930	1,310	101	109	110	110	102
佐賀	103	2,230	2,300	1,620	95	101	97	96	105
長崎	2,350	2,830	66,500	58,000	94	98	92	92	101
熊本	520	2,000	10,400	7,840	99	82	81	81	91
宮崎	394	2,660	10,500	9,930	99	101	100	100	107
鹿児島	3,780	2,010	76,000	70,600	94	97	91	91	101

注：「(参考)対平均収量比」とは、10a当たり平均収量(原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値)に対する当年産の10a当たり収量の比率である。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び作況調査の野菜調査として実施したものであり、春植えばれいしょの作付面積、収穫量、出荷量等の現状とその動向を明らかにし、食料・農業・農村基本計画における野菜の生産努力目標の策定及びその達成に向けた各種対策の推進、農業保険法に基づく畑作物共済事業の適切な運営等のための資料を整備することを目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査の範囲

令和2年産については、主産県を調査の対象としている。

なお、全ての都道府県を調査対象とする全国調査を作付面積調査(直近は令和元年産)は3年、収穫量調査(直近は平成28年産)は6年ごとに実施しており、全国調査以外の年にあっては全国調査年における作付面積の全国値のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県、野菜指定産地に指定された区域を含む都道府県、畑作物共済事業を実施する都道府県を調査対象(主産県)としている。

(2) 調査対象者の選定

ア 作付面積調査

関係団体調査(全数調査)

春植えばれいしょを取り扱っている全ての農協等及び野菜生産出荷安定法(昭和41年法律第103号)第10条第1項に規定する登録生産者とした。

イ 収穫量調査

(ア) 関係団体調査(全数調査)

春植えばれいしょを取り扱っている全ての農協等及び野菜生産出荷安定法(昭和41年法律第103号)第10条第1項に規定する登録生産者とした。

(イ) 標本経営体調査（標本調査）

都道府県ごとの収穫量に占める関係団体の取扱数量の割合が80%に満たない都道府県については、2015年農林業センサスにおいて調査対象品目を販売目的で作付けし、関係団体以外に出荷した農林業経営体から、作付面積の規模に比例した確率比例抽出法により抽出をした。

標本の大きさ（標本経営体数）については、全国の10a当たり収量を指標とした目標精度（1～2%）が確保されるよう、都道府県別に春植えばれいしょの全国収穫量に占めるシェアを考慮して目標精度（3～15%）を設定し、必要な標本経営体数を算出した。

(3) 調査対象者数

	関係団体調査			標本経営体調査				
	団体数 ①	有効 回収数 ②	有効 回収率 ③=②/①	母集団 の大きさ ④	標本の 大きさ ⑤	抽出率 ⑥=⑤/④	有効 回収数 ⑦	有効 回収率 ⑧=⑦/⑤
春植えばれいしょ (都府県)	団体 281	団体 221	% 78.6	経営体 14,510	経営体 1,282	% 8.8	経営体 641	% 50.0

注： 有効回収数は、集計に用いた標本経営体及び関係団体の数であり、回収されたが、当年産において作付けがなかった標本経営体等は含まれていない。

3 調査事項

(1) 作付面積調査

春植えばれいしょの作付面積

(2) 収穫量調査

ア 関係団体調査

春植えばれいしょの作付面積及び出荷量

イ 標本経営体調査

春植えばれいしょの作付面積、出荷量及び自家用、無償の贈与、種子用等の量

4 調査期日

収穫・出荷終了時

なお、春植えばれいしょの都府県における主たる収穫期間は、令和2年4月から8月までである。

5 調査方法

本調査は、関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査及び標本経営体に対する往復郵送調査により行った。

6 集計方法

(1) 都府県値

ア 作付面積の集計は、関係団体調査結果を基に、職員又は統計調査員による巡回・見積り及び職員による情報収集により補完している。

イ 収穫量の集計は、関係団体調査及び標本経営体調査結果から得られた10a当たり収量に作付面積を乗じて算出し、必要に応じて職員又は統計調査員による巡回及び職員による情報収集により補完している。

ウ 出荷量の集計は、関係団体調査結果から得られた出荷量及び標本経営体調査結果から得られた10a当たり出荷量等を基に算出している。

(2) 都府県計値

本年産調査は主産県調査年に当たることから、直近の全国調査の調査結果（作付面積調査は令和元年産、収穫量調査は平成28年産）に基づき、次により推計した。

都府県計値 = 直近の全国調査年の都府県計値 × 主産県値の比率（X）

X：当該年産の主産県値 ÷ 直近の全国調査年の主産県値

7 調査の実績精度

(1) 作付面積調査

関係団体に対する全数調査結果を用いて全国値を算出していることから、目標精度を設定していない。

(2) 収穫量調査

本調査の10 a 当たり収量に係る調査結果（主産県計）の実績精度を標準誤差率（標準誤差の推定値÷推定値×100）により示すと、1.5%である。

8 用語の解説

(1) 作付面積とは、は種又は植付けをしたもののうち、発芽又は定着した延べ面積をいう。

(2) 収穫量とは、収穫したもののうち、生食用又は加工用として流通する基準を満たすものの重量をいう。

(3) 出荷量とは、収穫量のうち、生食用、業務用向け、加工用として販売した量をいい、生産者が自家消費した量及び種子用、飼料用として販売したものは含めない。

なお、野菜需給均衡総合推進対策事業や都道府県等が独自に実施した需給調整事業により産地廃棄された量は、収穫量に含めるが出荷量には含めない。

(4) 10 a 当たり平均収量とは、原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値をいう。

ただし、直近7か年全ての10 a 当たり収量が確保できない場合は、6か年又は5か年の最高及び最低を除いた平均とし、4か年又は3か年の場合は、単純平均である。

(5) 対平均収量比とは、10 a 当たり平均収量に対する10 a 当たり収量の比率をいう。

9 利用上の注意

(1) 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		6桁 (10万)	5桁 (万)	4桁 (1,000)	3桁以下 (100以下)
四捨五入する桁（下から）		2桁		1桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前（原数）	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値（統計数値）	123,500	12,300	1,230	123

(2) 統計表中にて使用した記号は、次のとおりである。

「nc」：計算不能

(3) この統計表に掲載された数値を他に転載する場合は、「令和2年産春植えばれいしょの作付面積、収穫量及び出荷量（都府県）」（農林水産省）による旨を記載してください。

10 その他

(1) 北海道を含めた全国の春植えばれいしょの作付面積、収穫量及び出荷量については、「令和2年産春植えばれいしょの作付面積、収穫量及び出荷量」として、令和3年2月上旬に公表する予定である。

(2) この資料の数値は、概数値である。確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（令和3年12月予定）するとともに、その後刊行する「令和2年産野菜生産出荷統計」に掲載する。

なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。
【 <https://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】
この結果は、分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「野菜」の「作況調査（野菜）」で御覧いただけます。
【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_yasai/index.html#y4 】

【関連リンク】

野菜関係ページ: 農林水産省 > 組織別から探す > 生産局 > 園芸作物（野菜・果樹・花き） > 野菜のページ
<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/yasai/>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 園芸統計班
電 話：(代表) 03-3502-8111 内線3680
(直通) 03-6744-2044
F A X： 03-5511-8771

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 統計広報推進班
電 話：(代表) 03-3502-8111 内線3589
(直通) 03-6744-2037
F A X： 03-3501-9644



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>